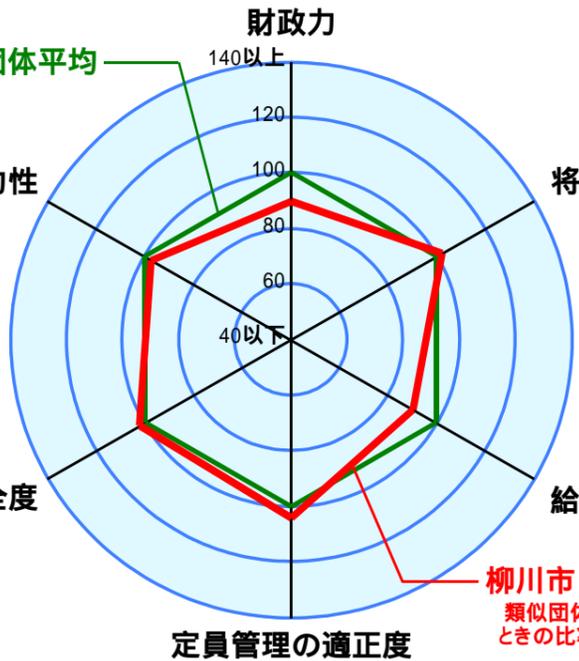


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 柳川市

人口	76,124 人(H17.3.31現在)
面積	76.90 km ²
歳入総額	31,230,531 千円
歳出総額	30,427,028 千円
実質収支	763,687 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
全国平均を上回る高齢化率に加え、市の基幹産業が農業漁業中心で、企業が少なく財政基盤が弱い状況です。退職者の不補充による職員数の削減による人件費の削減、各種補助金等の見直しなどにより歳出の削減を進めています。

未利用資産の売却促進による歳入の確保に努めます。

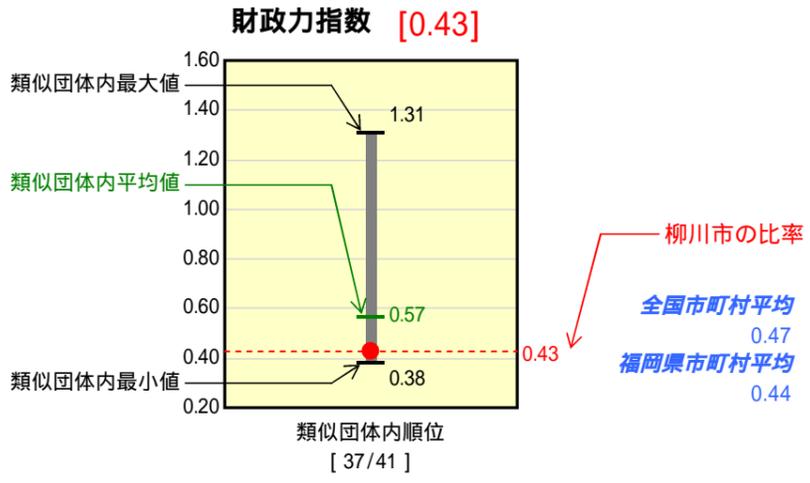
経常収支比率
児童手当、生活保護費などの扶助費が増加しています。老人保健、国保会計、下水道、介護保険への繰出金が増加しています。今後は、職員数の削減、経常経費の削減など合併のスケールメリットを活かした財政の健全化を図っていきます。

人口1人当たり地方債現在高
一市二町による合併をしましたが、各市町のこれまでの長期計画をそのまま引き継いでいること、さらに一市二町の均衡ある発展と道路網の整備等の社会基盤の整備を充実するため、投資的経費が増加しています。しかしながら、財政の健全化に向けて今後の大型事業については、大型公共事業評価プロジェクトによる総点検を実施し、不要不急事業の見直しを図る予定です。

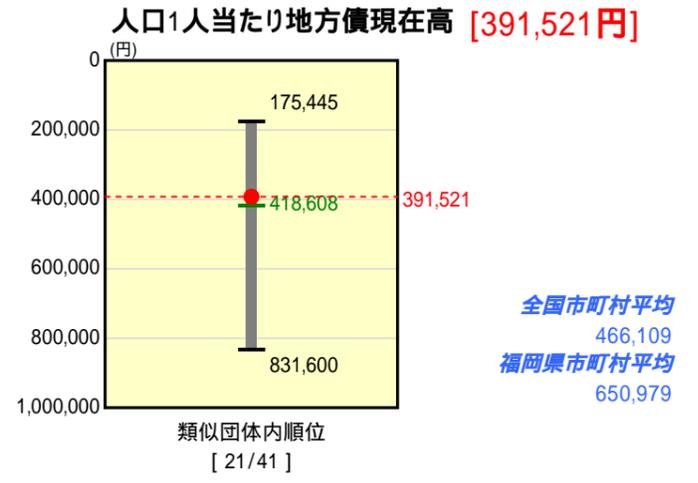
ラスパイレス指数
平成16年のラスパイレス指数は、合併前の旧柳川市99.8、旧大和町100.0、旧三橋町98.9で平均すると99.6です。平成17年の新市は99.3で、政令指定都市を除く県下24市中15番目となっています。

人口1,000人当たり職員数
平成17年4月1日現在、602人の職員に対し、平成17年度の退職者15人を補充しないため、平成18年4月1日は、587人の予定です。今後の定員管理においては、合併協議会で目標としていた合併10年間で15%を削減する定員削減計画を定め、事務事業や組織機構の再編整理、民間活力の導入などにより計画的に削減していきます。

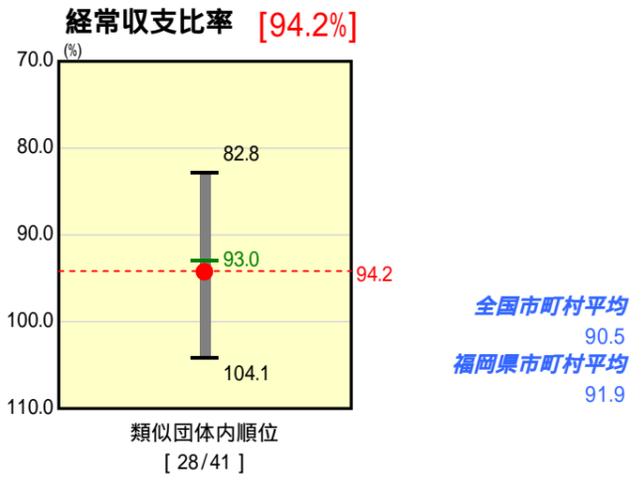
財政力



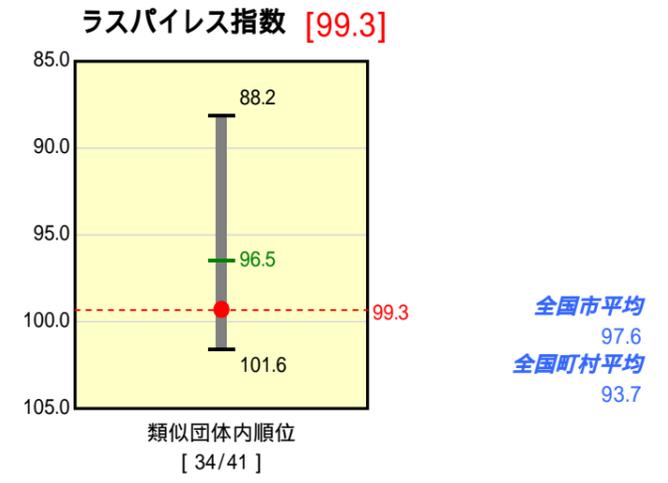
将来負担の健全度



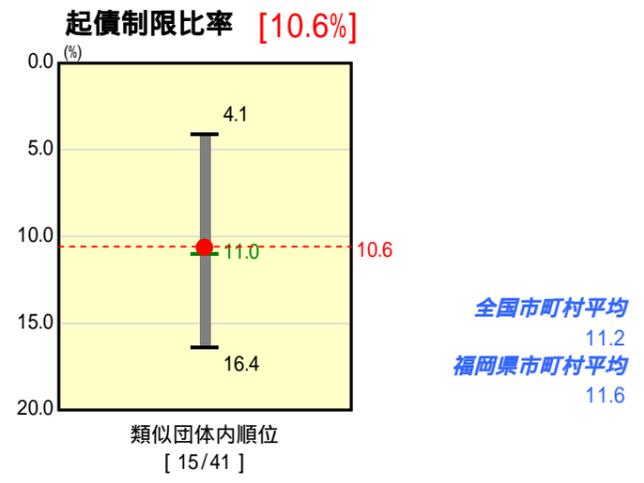
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度

